

感染症情報 1月13日～19日

府下小児科193医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	885例(堺市	104例)
②溶連菌感染症	202例(堺市	30例)
③RSウイルス感染症	189例(堺市	13例)
④咽頭結膜熱	33例(堺市	2例)
④伝染性紅斑	33例(堺市	5例)

府下301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 3,564例(堺市 406例)

報告数による順位。前週比9.8%増の1,439件。感染性胃腸炎が府下で前週から15%増、堺市で前週63例→今回104例(65%増)。溶連菌感染症が府下で10%増、堺市で前週24例→今回30例。RSウイルス感染症が府下で20%増、堺市で前回12例→今回13例。咽頭結膜熱が府下で27%減、堺市で前週4例→今回2例。伝染性紅斑が府下で32%増、堺市で前週2例→今回5例。

流行性角結膜炎が定点あたりでは先週と同じく4位に入っている。基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で前週12例→今回10例。堺市で前週4例→今回1例であった。

インフルエンザが府下で前週7,528例→今回3,564例で53%の大幅減。堺市も前週904例→今回406例で55%の大幅減。定点当たり大阪府は11.84、堺市は14.00であった。

府下301医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 994例(堺市 106例)
大阪府定点 3.30 堺市定点 3.66

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
54	107	91	119	82	80	108	82	67	86	118	994

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回1,137例→今回994例で13%減、定点当たり3.76→3.30であった。堺市で前週163例→今回106例で35%減、定点当たり5.62→3.66で、大阪府ブロック別ではワースト3位であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。